

環境経営レポート

株式会社 伸興製作所

2023 年度

(対象期間: 2023 年5月1日～ 2024 年4月30日)

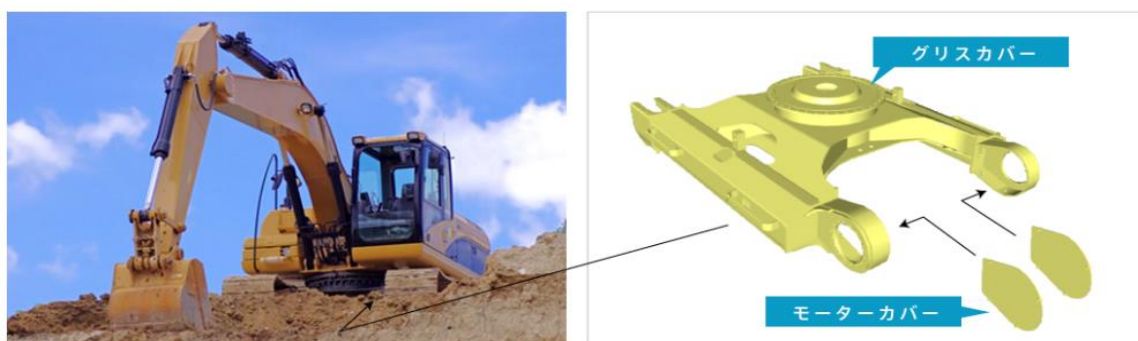



エコアクション21
認証番号0007868
エコアクション21 認証取得

作成日: 2024年6月10日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9



キャタピラーの建設機器の部品を主として生産

ごあいさつ

当社は1950年の創業以来、建設機械を主体にプレス加工、深絞り加工を手がけてきました。「鉄」という素材を熟知し、それを活かしたプレス加工技術により、この間、省力化やあらゆる機械部品の軽量化を実現。ローコストで、高品質な製品をお届けしてきました。

世界的に環境問題が大きく取り上げられる中、弊社として環境保全に如何に取組貢献していくかが大きな課題であり、まずは社員一同が出来る事を率先し、企業として今までの製造工程で培ったノウハウを環境保全に貢献出来ればと幸いかと存じております。

環 境 経 営 方 針

企業理念

当社は、建設機器用金属部品の加工製品を提供し社会・顧客に貢献する事を目指しています。常に、安全、安心な品質を作り込む事を目標に、人材育成を強化・環境保全に力を入れ、全従業員で環境負荷低減にむけ、継続的な改善活動に取り組み地域社会・国際社会に貢献してまいります。

行動指針

1. 環境負荷の低減
省エネルギー・省資源、及び廃棄物、二酸化炭素排出量削減に努め、廃棄物のリサイクルを推進し地球環境負荷低減に努めます。
2. 環境関連法規を遵守致します。
国内外の環境関連法規・条例・協定を遵守し自主管理体制を強化し環境保全活動に努めます。
3. 化学物質の管理に取り組みます。
顧客要求に従い、自社でも環境にやさしい物質を選定し環境保全活動に従事します。
4. 水使用量の削減に取り組みます。
5. 社内の5S活動を推進し、従業員の品質・環境に対する意識向上に取り組みます。
企業のクリーン活動を活発化させ、品質保証、環境保全の意識向上に努めます。
6. 環境経営方針を全従業員に周知します。
社内、社外のコミュニケーションを充実させ、情報交換の場を広げ、職場環境づくりに努めます。



代表取締役 中村 智

制定日：2010年5月10日

改定日：2019年5月1日

代表取締役社長 中村 智

組 織 の 概 要

更新日：2022年12月7日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 伸興製作所
代表取締役社長 中村 智

(2) 所在地

本 社 兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和747
第二工場 兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和731-1
第三工場 兵庫県神戸市西区伊川谷町潤和739-3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 品質保証部長 永易 一博 TEL：078-974-0077
担当者 生産管理G 中村 泰 TEL：078-974-0077

(4) 事業内容

金属加工業、建設機械及び鉄道車両用等の板金加工、機械加工、溶接組立

(5) 事業の規模

	本 社	第二工場	第三工場	合計
従業員 名	34 名	7 名	7 名	48 名
延べ床面積 m ²	2703 m ²	742.5 m ²	946 m ²	4391.5 m ²

(6) 事業年度 5 月 1 日 ～ 4 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 伸興製作所
対象事業所：本 社
第二工場
第三工場

対象外：
活動： 金属加工業、建設機械及び鉄道車両用等の板金、機械加工、溶接組立

□事業や製品(商品)の紹介



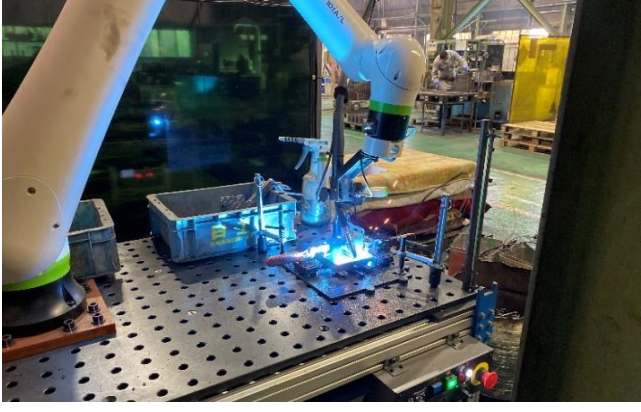
プレス加工



溶接加工



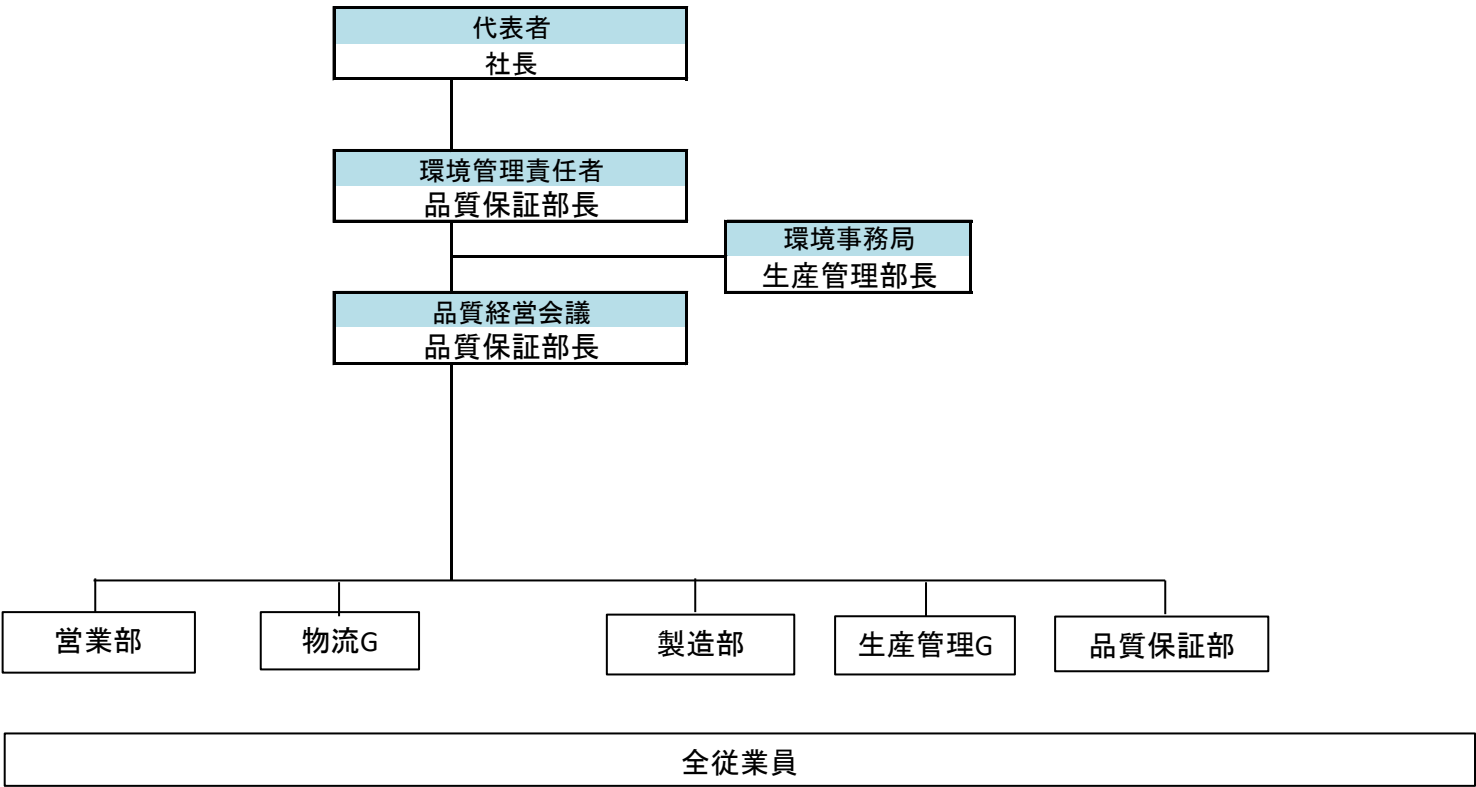
切断加工 【3次元レーザー】



【協働ロボッ

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2023年11月21日



	役割・責任・権限
最高責任者（社長）	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境経営レポートの承認。
環境事務局	・EA21 審査日程調整及び申請、地域事務局との窓口。 ・EA21 立案、運用、見直しについて管理責任者の全般的な補佐。 ・組織全体に関する文書作成。 ・組織全体の文章及び記録の維持管理。 ・組織全体の文章及び記録の保管、廃棄。
環境管理責任者 担当者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取り纏め表を作成、承認。 ・環境経営目標・環境経営計画書を作成、確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境経営レポートの作成、確認、公開。 ・環境部会の取りまとめ。 ・環境負荷の自己チェック、環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境経営計画の実績集計。 ・環境関連法規等取り纏め表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・各部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。
品質経営会議	・品質状況報告実施 ・環境経営目標、環境経営計画の審議 ・環境経営計画の実績の確認・評価 ・月1回実施する。 ・代表者も参画する。 ・代表者も参画する。
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

主な環境負荷の実績

項 目	単位		2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂		300,576	220,733	
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	k g		18,000	22,500	
産業廃棄物排出量	トン		815	518	
水使用量	m ³		565	484	
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後） 関西電力2019年調整後			0.318	0.318	kg-CO2/kWh

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

項 目			基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			2022年度実績				2022年度実績	2022年度実績
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		272,923	270,194	198,306	○	267,465	264,735
	基準年度比		2022年	99%	73%		98%	97%
	(参考)原単位	kWh/千円	0.815	0.807	0.727		0.799	0.791
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2		27,653	27,376	22,427		27,100	26,823
	基準年度比		2022年	99%	81%		98%	97%
電力量	kWh		858,249	649,345	623,604	○	8,410,084	832,501
ガソリン量	ℓ		928.99	836.1	1087.79	△	910.4	901.1
軽油量	ℓ		9882.89	8894.7	7714.42	○	9,685.3	9,586.5
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		300,576	297,570	220,733		28,010	27,725
一般廃棄物の削減	kg		18,000	17,820	22,500	×	17,640	17,280
	基準年度比		2022年	99%	125%		98%	96%
産業廃棄物の削減	kg		814,908	806,759	518,490	○	790,461	782,312
	基準年度比		2022年	99%	64%		97%	96%
水道水の削減	m ³		565	559	484	○	554	548
	基準年度比		2022年	99%	86%		98%	97%

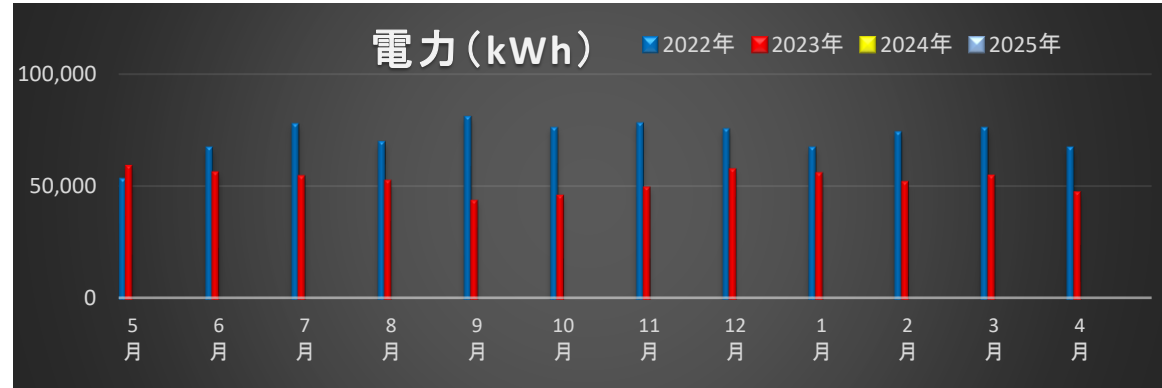
評価基準○:100%以上 △:80～99% ×:79%以下

- ※1 目標は基準年対比の削減率。電力・ガソリン・軽油は参考値。
- ※2 灯油及びLPGは算入していない。灯油については2024年度から削減目標値を検討する。
- ※3 化学物質の使用はなし。

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

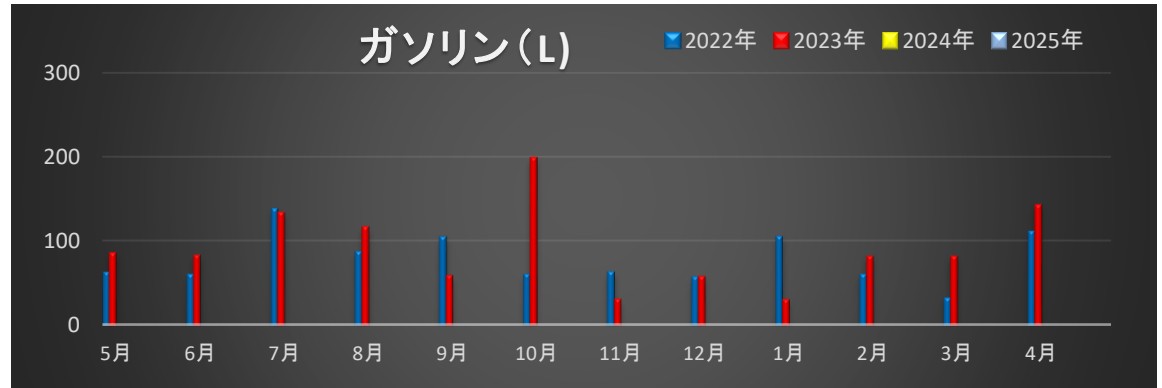
数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	127%	23年度、受注量減で休日出勤の抑制及び残業規制強化で、目標達成が来ている。 24年度も、大幅に増産計画の見込みは薄く、現状の状態をキープする活動を継続する。 工数削減については、検討中。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・クールビズ・ウォームビズの推進	○	
・不要照明の消灯	○	
・残業時間縮小及び休出管理強化	○	
・生産改善による工数削減	○	

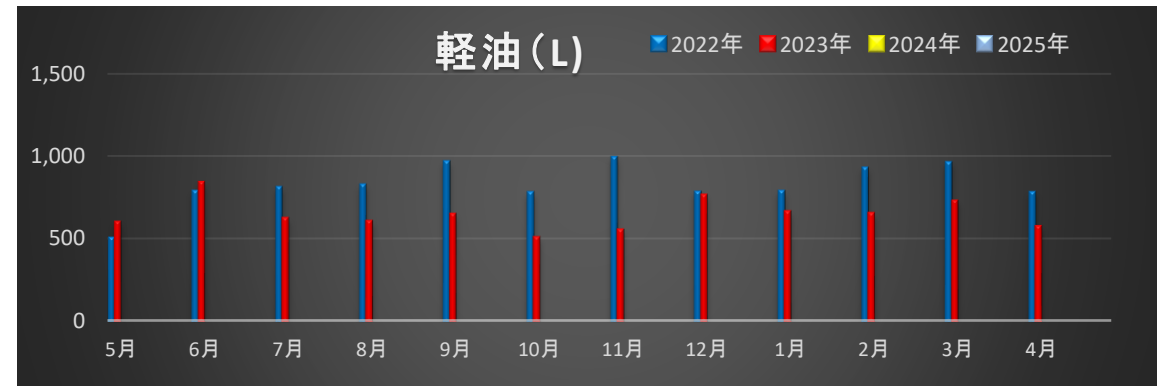


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
2022年	52,933	66,913	77,344	69,358	80,422	75,553	77,544	75,045	66,941	73,643	75,581	66,972	858,249
2023年	58,569	55,863	54,049	52,027	43,136	45,419	49,062	57,193	55,499	51,435	54,348	47,004	623,604
2024年													0
2025年													0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	118%	ガソリン使用量は多く変化無く横這い状態である。 軽油は受注量の減少で、運搬上雨量が減少した事が、良化に繋がっている。 24年度も出荷量は多くない予測なので、このまま推移。
・急発進・急ブレーキ操作の撤廃	○	
・効率的なルートで配送	○	
・暖気運転(アイドリング)の廃止	○	
・空気圧のこまめな点検	○	

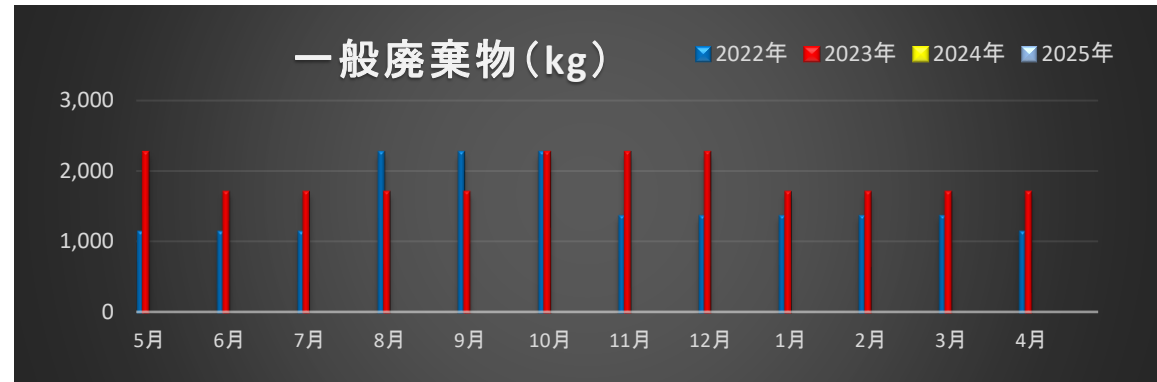


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
2022年	62	59	137	86	104	59	62	56	104	59	31	110	929
2023年	85	82	133	116	58	198	30	56	29	81	81	142	1,088
2024年													0
2025年													0



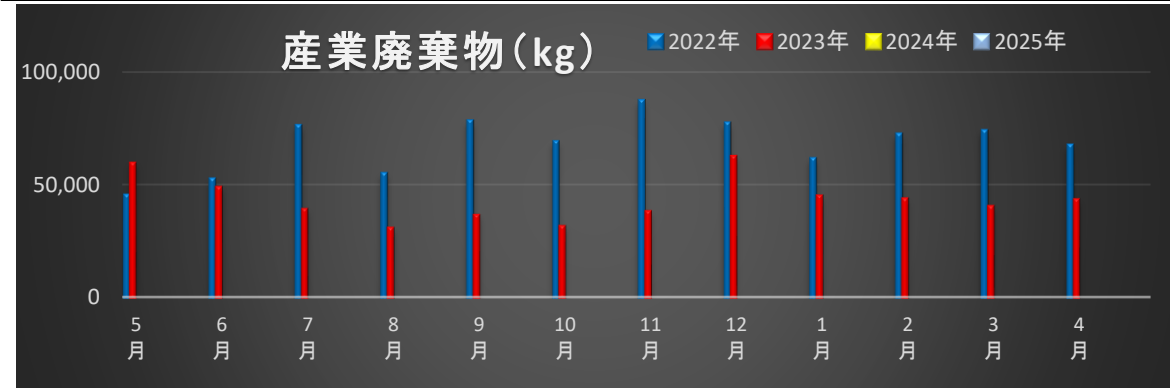
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
2022年	502	786	809	824	964	778	991	781	785	926	959	778	9,883
2023年	595	836	620	601	644	503	550	761	659	650	724	572	7,714
2024年													0
2025年													0

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	74%	一般廃棄物に関しては、基準年の1.25倍と増加した。工場内の4s活動を強化したことも要因である。要因もはっきりしており、是正対象とはしない。受注数と比例する事ではないので、大幅な増加に繋がらない様に管理する。
・分別の徹底	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・持込ごみの見直し	○	
・裏紙の使用	○	



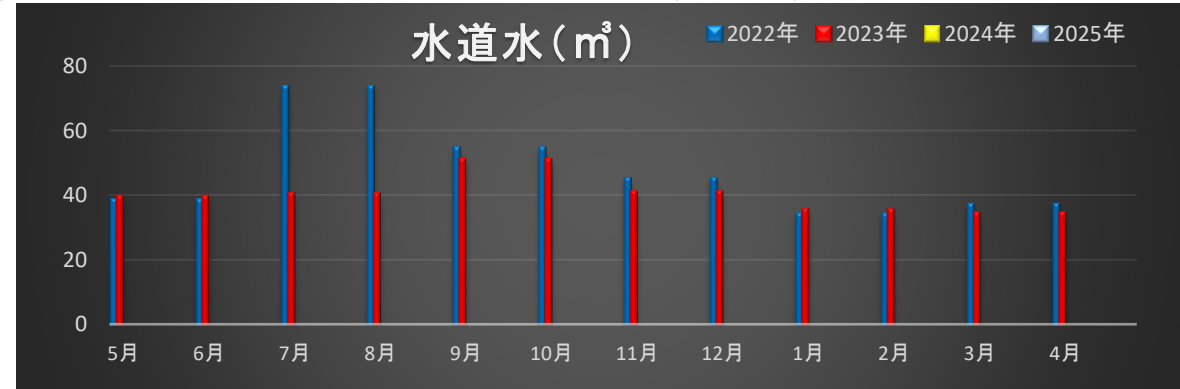
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
2022年	1,125	1,125	1,125	2,250	2,250	2,250	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,125	18,000
2023年	2,250	1,688	1,688	1,688	1,688	2,250	2,250	2,250	1,688	1,688	1,688	1,688	22,500
2024年													0
2025年													0

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	136%	受注数の減少と比例し、産業廃棄物は基準年よりも減少傾向である。次年度も大幅な受注増の見込みはなく、今年度より若干増加傾向になる見込みであるが、4S・5S活動での不要物の廃棄等増加する事はある。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・不具合品の再利用化	○	
・金属系のリサイクル強化	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
2022年	45,420	52,390	76,100	54,830	78,010	68,990	87,083	77,230	61,475	72,240	73,780	67,360	814,908
2023年	59,310	48,690	39,030	30,780	36,410	31,530	37,980	62,450	44,900	43,750	40,370	43,290	518,490
2024年													0
2025年													0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	113%	2022年度の一部は、設備故障で増となっている。水道水削減については、冬場の凍結予防の水出しも抑制ができたと思われる。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・蛇口の開閉量の抑制	○	
・蛇口の締め忘れ	○	
・冬場の凍結防止の水出し抑制	○	



	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
2022年	39	39	74	74	55	55	45	45	34	34	37	37	565
2023年	40	40	41	41	51	51	41	41	36	36	35	35	484
2024年													0
2025年													0

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等名称	該当する設備・項目	遵守すべき要求事項	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出	契約書、マニフェスト	○
フロン排出抑制法	業務用空調機・エアコンプレッサ(空気圧縮機)の設置	簡易点検・記録	○
騒音規制法	エアコンプレッサ(空気圧縮機)、油圧プレス機の設置	届出	○
振動規制法	油圧プレス機、切断機の設置	届出	○
下水道法	除害施設の設置	神戸市条例	○
大気汚染防止法	ショットブラスト機の設置	環境測定	○
消防法(危険物)	危険物の保管(切削油・潤滑油等)	届出	○
水銀汚染防止法	蛍光灯・水銀灯・電池(乾電池、ボタン電池等)	分別管理	○
PRTR法	化学物質(ドライゾール)	SDS最新版管理(入手)	○
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫	リサイクルの推進	○
資源有効利用促進法	パソコン	リサイクルの推進	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月6日

・目標・達成状況

23年度、環境目標は一般廃棄物以外は、目標クリアーといい結果である。
一般廃棄物を減少させる事は、難しい面もあるが、ゴミの削減意識を持つこと。
基準年2022年度比較で、受注数が大幅に減少しているが、目標達成する事に意義がある。

・組織を取り巻く経済環境

メイン顧客の受注数が大幅に減少傾向である。
2024年度も、大幅な回復は見込めない状況である。
品質面も良化傾向であるが、一人一人の意識をもった活動がキーポイントになる。

・組織の課題とチャンス

来季も受注数が大幅に回復する見込みは薄く、また、海外サプライヤーとの価格競争が激化している。
価格競争はこれからも海外サプライヤーとの比較にされる為、品質安全を第一に各部門、業務推進する事。

環境経営方針

☒ 変更なし

☐ 変更あり

環境経営目標・計画

☒ 変更なし

☐ 変更あり

実績を踏まえて見直すこと

実施体制他

☒ 変更なし

☐ 変更あり

その他

油圧プレスのオーバーフローオイルを地下のピットに溜めているが、土地柄、雨が多く振ると雨水がピットに染込み
雨水と油が排水溝に流れる為、2023年度より年2回 梅雨時期及び台風が多くなる前の月に地下ピットをくみ取り
油の流出を防ぐ予防するため、実施する事。

弊社は金属加工を主としレーザ加工で切断をしています、極力端材を出さないようにネスティングで
無駄のない切断配置を考え、廃棄部分を減らしている。
製品上、廃棄部部が大きくなった場合は、他製品に流用するようにも心掛けており、材料のムダを
無くすことを注力している。